

部落の人たちの健康を守る闘い

移動保健所 健康検査事業を実施

部落の健康を保障するための「移動保健所健康検査事業」にかんする話し合いを7月31、同和企業センターでひらかれ、約20人が参加した。

はじめに、山本昌代・生活福祉運動部副部長からあいさつがあり、つづいて和歌山県から「移動保健所健康検査事業」の趣旨説明があった。その後、対象支部ごとにわかれ、日程や検診内容、周知方法などの確認をし、詳しい内容については当該支部と直接打合せをおこなう。

移動保健所健康検査事業 杭ノ瀬支部で実施

移動保健所健康検査事業が9月28日、杭ノ瀬児童地区福祉センターでひらかれ、20歳～88歳までの35人が受診した。受診者は、受付のあとに①身長・体重測定、②血液検査、③骨密度、④血管寿命、⑤胸部レントゲン、⑥心電図をうけて終了した。

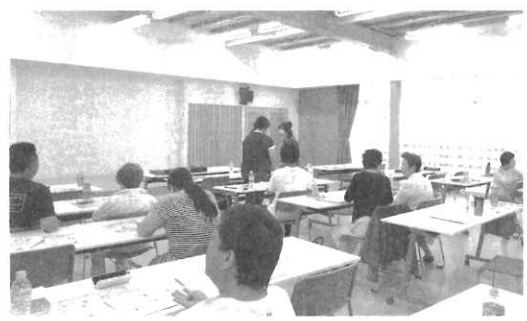
あいサポート運動、実施

杭ノ瀬支部

和歌山県がすすめている「あいサポート運動」を9月7日、杭ノ瀬児童地区福祉センターでひらかれ、杭ノ瀬支部から支部執行委員はじめ36人が参加した。

はじめに、辻岡龍閣・杭ノ瀬支部書記長から、あいサポート運動について説明があり、つづいて講師の西岡匠・和歌山県福祉保健部障害福祉課計画調整班班長から、学習がすすめられた。

パワーポイントを活用した説明や実際に車いすやアイマスクなどを着用した実践研修では、やってみてはじめて気づくことが多く、参加者から「アイマスクをして歩くときは、相手を信頼



アイマスクをして歩く参加者

また、関連事業として、健康教室を10月8日、同場所で行き、約30人が参加した。2015年度末に杭ノ瀬診療所が廃止されたが、健康問題が解決したわけではないと歩けない。道路におかれた障害物がどんなに危険かを知ることができた」と語った。

けではなく、高齢者自身の健康を守るため、心身ともに自立し健康寿命を延ばすことで豊かで健康的な生活を送るため、健康検査事業に参加していない人も広く参加をよびかけた。

講演は「気軽にできる体づくり」と題して、和歌山県立医科大学付属病院リハビリテーション部から成川臨さんをお招きし、簡単にできる体操を教わった。ストレッチすることで、筋

肉が柔らかくなり、けがを防止することができるといふ。反動をつけず、ゆっくりと少し痛みを感じるところまで伸ばすことで効果的と語

新宮支部は、2020年1月に実施予定。

保育集会基調を議論

第42回全国人権保育研究会にかんする第4回中央実行委員会・第3回企画運営会議を9月26日、福山市にある平和資料館でひらかれ、運営委員15人が参加した。

はじめに、吉岡正博・中央教育文化運動部長から「保育集会成功に向けて頑張ろう」とあいさつがあった。全人保の分科会報告・司会・助言の確認、路線バスや大型バスの駐車場などの確認をおこない、基調(案)について議論した。子どもの権利条約30年とのリンクや幼児教育・保育の無償化について、子ども支援センターの位置づけ、障がい児保育などについて、多くの意見がだされた。基調(案)については、事務局で集約し、当日をむかえる。

第42回全国人権保育研究集会

- 日時 11月9日(土)～10日(日)
- 場所 ふくやま芸術文化ホール
リーデンローズ大ホール
- 集会テーマ
「部落差別をはじめとするあらゆる差別の現実から学び、人権保育を創造しよう」

和市ブロック、総会ひらく

8月1日に2019年度和歌山市ブロック連絡協議会総会をひらき、和歌山市選出の執行委員・支部三役・ブロック役員21人が参加した。

瀧口秀光・議長から、日々の運動に対するお礼と猛暑による体調管理についてあいさつがあり、田中博之・事務局長から一年間の経過報告、決算・予算報告、会計監査報告がおこなわれた。さらに2019年度対和歌山市交渉の日程行動と基本・統一・各支部要求項目についての確認がされた。また、9月5日にひらかれる企業連第49回総会のブロック運営委員を岩橋支部に提案した。今年役員改選の年ではないので、現行の役員体制で一年間ひきつづき担うことを確認し、総会を終えた。



あいさつする藤本哲史県連執行委員長

◆役員についてはつぎのとおり

和歌山市ブロック連絡協議会	議長	瀧口秀光
副議長	中辻繁樹	
事務局	田中博之	
会計	松井幸雄	
監査	山本敏明	
事務局	渡部伊珠美	

支局からのお知らせ



お気軽にお電話を!

和歌山支局では、各支部でのとりくみを積極的に紹介していきたいと思えます。支部活動や子ども会活動など、支局までお知らせいただければ、取材に走ります。もちろん、投稿記事も大歓迎! 写真を添えて支局までお送り下さい。(発送先) 〒640-8314 和歌山市神前405-13 部落解放同盟連合会内 解放新聞和歌山支局宛